

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018 年	1 月	28 日	記入者	久門たつお
調査者名	大村	久門	鈴木	中川	

調査対象先	薬園寺(真言宗御室派)				
所在地	大和郡山市材木町30			電話番号	0743-55-4788
代表者 調査対応者	北野宥範住職				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件
	建造物	県指定:	1 件 1 棟	国宝:	件 棟
				重文:	件
				重文:	件

地震対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	県指定の本堂が老朽化で傾き、2010年から4年をかけ県の補助を得て解体・耐震工事を行った。地盤強化を行う一方、壁面に筋交いを入れ、天井裏、床下なども耐震構造にした。
	今後の予定	県教委からは、本堂が江戸時代前期の「方三間堂」の基準作と評価していただいております、大切に守ってまいります。
	要望	特になし。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	解体・耐震工事に合わせて火災報知機を設置した。天井裏には熱感知センサーを設けている。
	今後の予定	堂内中央の護摩壇で護摩を焚く法要を行ってきたが、工事後は防火のため火気が極力出ないようにし、護摩焚きは行わないように改めた。護摩壇も炎を出さない形にし、呼び方も大壇に変えた。
	要望	特になし。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	薬園寺(真言宗御室派)
-------	-------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	解体・耐震工事の以前の建物では一部に白アリ被害はあった。街中にあり動物関係の被害は特にはない。
③ 今後	今後の予定、要望	床下などに白アリ対策の薬物塗布を行っている。

寛永21年(1644)建造の県指定の本堂

解体・耐震工事では格(ごう)天井の3分の1を新調



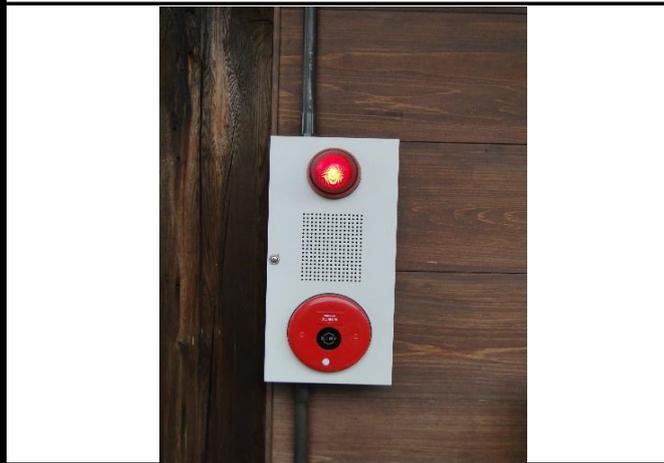
壁面上部には補強金具を使用

窓部分は丈夫な格子をしつらえ固定構造に



本堂外部に設置された火災報知機

【調査票記入者(久門たつお)の感想】



県指定の本堂の老朽化に伴い、県教委の補助で解体工事を行って耐震・防火能力は格段に向上した。本堂が建築上貴重と評価した県教委とお寺の連携もうかがえ、地震対策事業の好例と思われる。